

狛江市

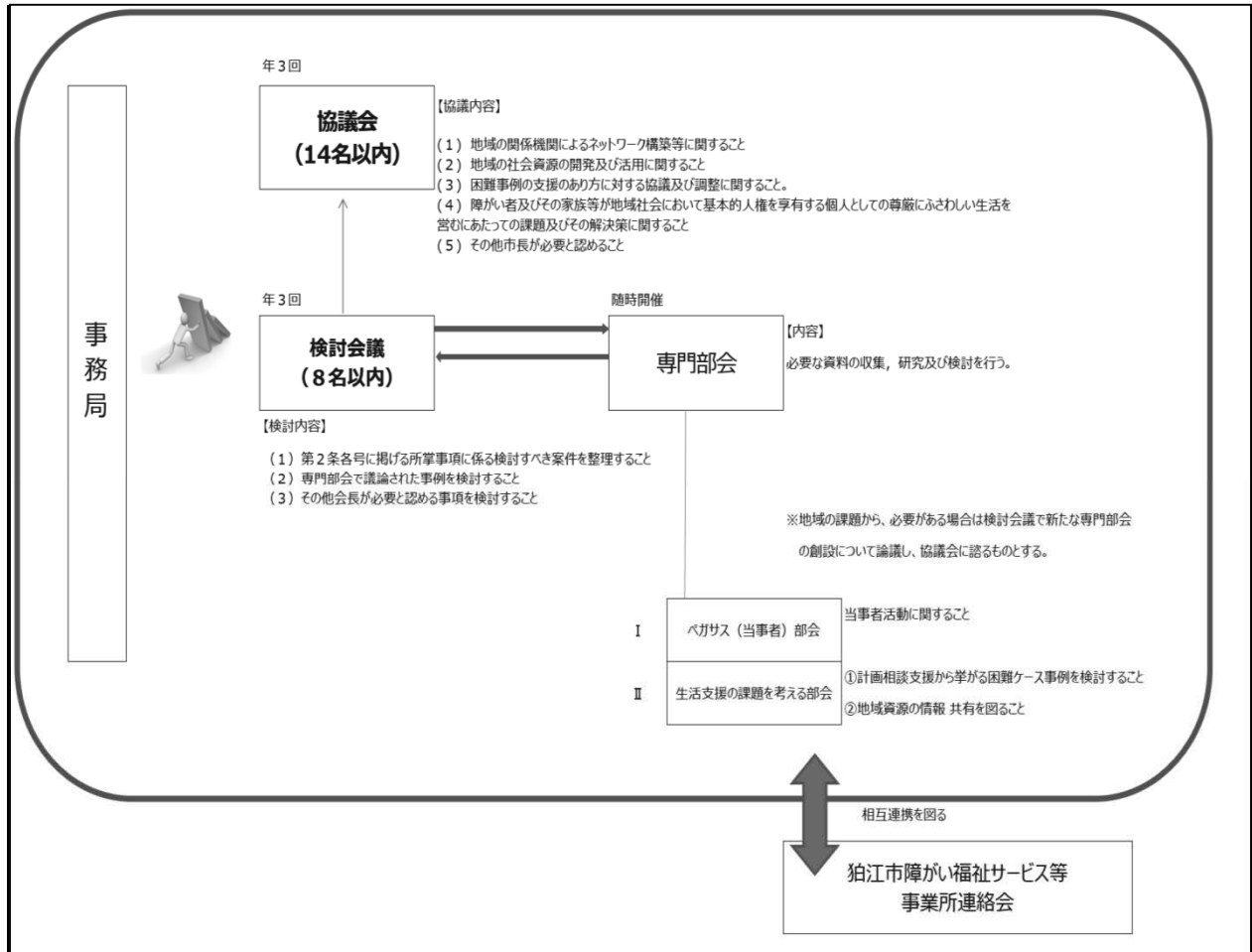
【名称】 狛江市地域自立支援協議会

【ホームページURL】 <https://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/51,0,451.html>

【設置年月】 平成22年7月

【運営方法】 直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
0	1	2	2	3	2

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
③ 検討中	令和5年度	③ 多機能拠点整備型＋面的整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
③ なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

専門部会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
3	14 (1)

部会名	回数	委員数
生活支援を考える部会	24	8 (0)
ベガス当事者部会	適宜	2 (2)

※「委員数」の()：障害当事者(本人)で委員に就任されている方の人数(再掲)

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	2	雇用関係機関	0	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	2	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	2
障害福祉サービス等事業者	4	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		
合計		14			

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	高山 由美子	ルーテル学院大学	学識経験者	
2	副会長	森田 純司	狛江市社会福祉協議会	相談支援事業者	
3		上遠野 秀夫	狛江市民生委員・児童委員	民生委員・児童委員	
4		東 貴宏	NPO法人さつき会	相談支援事業者	
5		高島 逸臣	社会福祉法人足立邦栄会	障害福祉サービス等事業者	
6		橋爪 克幸	社会福祉法人光友会	障害福祉サービス等事業者	
7		高橋 基子	NPO法人さつき会	障害福祉サービス等事業者	
8		加藤 智美	狛江市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
9		沼田 洋平	NPO法人ゆめぼっと	障害福祉サービス等事業者	
10		二宮 啓子	東京都立調布特別支援学校	教育関係機関	
11		大島 一栄	東京都立府中けやきの森学園	教育関係機関	
12		橋本 雅美	多摩府中保健所	保健所	
13		牧 奈苗	当事者	障害当事者・家族・関係団体	
14		森井 道子	狛江市手をつなぐ親の会会長	障害当事者・家族・関係団体	

(2) 活動内容

第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の進捗確認
 専門部会、検討会議の活動報告
 地域課題の報告等

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別 \ 部会名	生活支援を考 える部会	ペガサス 当事者部会
学識経験者	0	0
医療関係者	0	0
保健所	0	0
教育関係機関	0	0
雇用関係機関	0	0
企業	0	0
障害当事者・家族・関係団体	0	2
身体・知的障害者相談員	0	0
相談支援事業者	8	0
障害福祉サービス等事業者	0	0
社会福祉協議会	0	0
法曹関係者	0	0
民生委員・児童委員	0	0
地域住民	0	0
行政職員(区市町村)	0	0
行政職員(都)	0	0
その他	0	0
計	8	2

(2) 活動内容

部会名	活動内容
生活支援を考える部会	計画相談を行う中で対面している様々な課題や個別の困難さや社会的状況の困難さを、狛江市の地域の課題として捉え、整理を行っている。
ペガサス当事者部会	当事者同士が地域でつながりを持てるよう、交流の場を作ったり、当事者の目線から障がいについて啓発を行っている。

【地域協議会の活動状況】

1 地域協議会の協議事項（複数回答）

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること

障がい者の支援者が、介護支援専門員連絡会に参加することや、事例検討会を一緒に行うことで、双方の理解を深め、支援の連携体制を作っていく必要性について意見が出た。

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

生活支援を考える部会で抽出を行った地域課題を再検討し、協議会に報告を行った。8050問題やヤングケアラー等のような多機関が関わる必要のある世帯が顕在化する中でどのように連携を持つべきかを検討した。

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

生活支援を考える部会で抽出を行った地域課題を再検討し、協議会において報告を行った。当事者や支援者といった立場の違いから成年後見制度利用に係るメリット・デメリットの違いを確認し、どのように適切に説明が行えるかを検討した。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

地域生活支援拠点の整備について、進捗状況を確認した。

⑪ 障害福祉計画等に関すること

当市における第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の進捗確認を行った。

2 地域協議会としての役割（複数回答）

① 情報の顕在化

生活支援を考える部会において、相談支援専門員が受けた相談内容や解決困難な事例について報告され、顕在化され、地域課題の整理に活かしている。

② 情報共有・情報発信

生活支援を考える部会において出された地域課題等について、課題整理のため、地域の障がい福祉サービス事業者や保健所が加わり、地域課題等を共有している。

⑤ 地域課題の整理

地域における課題の整理を行い、既存の資源を工夫して活用できるものがないのか検討を行っている。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

計画の進捗確認を行い、必要に応じて意見具申を行っている。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

相談支援体制の充実に向けた取り組みとして、限りのあるマンパワーである相談支援専門員のスキルアップも必要な役割であると考えている。

3-1 地域協議会における地域課題

① あがっている

3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

相談支援専門員の質の向上に向けて研修等を検討したが実施には至らなかった。

④ 高齢福祉分野との連携

高齢福祉分野や他機関との連携方法を検討し、生活支援を考える部会で定期的開催を予定した個別事例検討会に多機関の参加を依頼することを今後検討している。

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

相談支援専門員の人材については、どの区市町村も不足しているのではないかと感じています。広域における課題であると思われます。

4 地域協議会における当事者の参画状況

(当事者の委員がいる区市町村)

4-1 (1) 当事者委員が、どのような経緯で委員に選任されたか、又は、どのような所属、背景、経歴等の方か

専門部会であるペガサス当事者部会からの推薦により委員に選任している。

(2) 多様な当事者の委員(障害や難病の種別、性別、年齢等)に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題となっていること

協議会開催前には事前に打ち合わせを行うように心がけている。

(地域協議会を設置している区市町村)

4-2 当事者の委員だけでなく、地域で生活する多様な当事者(障害や難病の種別、性別、年齢等)の声を吸い上げられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題となっていること

当事者に限らず、地域協議会の役割についてまだ浸透しきれていないのではないと実感はしている。多くの方に知ってもらえるよう、どのような取り組みをするべきか次年度以降の課題と捉えている。また、検討した課題についてどのように進捗管理を行っていくかも課題であると感じている。積み上げた課題を埋もれさせないようにする管理方法も課題であると感じている。